

北通遺跡 第81地点

遺跡名	北通遺跡
よみがな	きたどおりいせき
調査地点	第81地点
主な時代	縄文時代中期（約5,000前）
調査地	富士見市針ヶ谷1丁目33-1、33-19、33-48、33-49
調査面積	1033.96 m ²
調査期間	平成29年11月20日～11月28日
調査内容	<p>【確認された主な遺構】 縄文時代中期の竪穴住居跡1軒</p> <p>【出土した主な遺物】 縄文時代中期の縄文土器、石皿</p> <p>【概要】</p> <p>北通遺跡は、市城南西部の針ヶ谷地区に位置し、北東へ流れる柳瀬川と支谷を南東に臨む台地縁辺部に所在しています。</p> <p>これまでの調査で、特に弥生時代後期～古墳時代初頭の竪穴住居跡が100軒以上検出されている大規模な集落跡で、縄文時代中期においても30軒以上の竪穴住居跡が検出されています。</p> <p>今回の調査で確認された縄文時代中期の竪穴住居跡は、壁際に支柱穴を持ち、住居跡中央部に土器埋設炉を持つものです。炉内には煮炊きで使われていた深鉢（縄文土器）や石皿が廃棄されていました。埋設された土器の周囲の炉床面はしっかりと赤く焼けており、長時間使われていたものと思われます。</p>



竪穴住居跡土器埋設炉の遺物出土状況①



竪穴住居跡土器埋設炉の遺物出土状況②



土器埋設炉完掘状況



縄文時代中期竪穴住居跡完掘状況